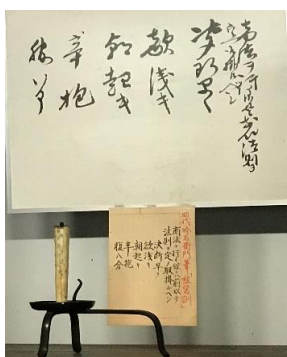


たんちょう通信

～ 第 62 号 ～



こんにちは、丹頂ガスの丹羽です。いつも「たんちょう通信」をお読み頂き誠にありがとうございます。8月上旬、私は「あきない道場」の仲間たちと滋賀県東近江市にある「近江商人郷土館」へ行きました。「近江商人の史跡」から近代日本史の変革期における「繁栄」の礎を学びに行きました。「近江商人」の発祥は鎌倉時代までさかのぼります。安土桃山時代に織田信長が「楽市楽座（自由に商売が出来る市場）」を始めたのも「近江商人」の経営法を領国経営に取り入れたことから始まります。「誠実」「勤勉」「儉約」「謙虚」「忍耐」という徳目を実践し、信用を第一義として大成しました。私たちが訪れた郷土館は、元々、丁子屋「小林吟右衛門」の商家で、昭和46年まで住まれていた屋敷でした。お店の奥に「家訓」が貼ってありました。四代目吟右衛門の直筆で「経営訓」と記されていました。商法ヲ行イ候ニハ前以テ法則ヲ定メ取掛ルベシ「決断早メ」「欲浅キ」「朝起キ」「辛抱」「腹八分」身が引き締まる内容でした。現代の日本では、物に不自由しない、色々なサービスや商売がある中、ついうっかり気を許すと真逆のことをしてしまいがちです。「当たり前」のことを「当たり前」にすることが、なかなか難しいことだと思います。しかし、「会社を経営」をする上ではとても、基本的なことでもあり、大切な習慣と気づかせて頂きました。「近江商人の教え」には「不易の精神をまもりぬく」とあります。「不易」とは、「どんなに世の中が変わっても、絶対に変わらないもの、変えてはならないもの」をいい。その反対に「流行」があります。「社会情勢の変化に応じて、的確に対応していくこと」この二つの言葉を合わせたのが「不易流行」です。「奥の細道」で松尾芭蕉が晩年、琵琶湖畔で過ごしていた時に考えた言葉です。今の日本が、コロナ禍で経済の情勢が大きく変わろうとしています。よりインターネットを使ったサービスが促進して「AI（人工知能）」に頼る社会になって行くようです。その中でも、リアルな経済、「人と人が接する仕事」も大切なことで「アナログの仕事」は決してなくなり、むしろ今までのように必要とされると思います。そのサービスをするのが我々「たんちょう隊」です。お客様に喜ばれて「感謝」されるサービスを提供することです。何かあれば直ぐに駆け付けて、お客様のお困りごとを「解決」する「おたすけ隊」です。私たちも「近江商人の教え」を少しでも身に付けて「社会貢献」の精神で頑張っていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。感謝





社員紹介のコーナーです!



やだ あやこ
矢田 絢子

皆様、こんにちは! 入社2年目、**矢田 絢子**です。
四日市市在住で9月27日生まれの**天秤座**です。
四日市商業高校出身で**空手道部**に所属していました。**初段の黒帯**です。
私の仕事は**事務と検針**を担当しています。検針地域は**いなべ・菰野**
桑名・四日市北方面です。また何かありましたらお声がけくださいませ。
好きな食べ物は、**豚骨醤油ラーメン**と**激辛料理**です。

私はラーメンがとても好きで色々なラーメン屋さんに行っています。また、激辛料理では辛くて食べきるのが大変ですが、食べ終わるとまた食べたくなります。
検針でお客様宅に訪問した際、網戸越しに「暑い中お疲れ様」と優しい言葉をいただくことがあります。私はとても嬉しくて次も頑張るぞ!と思います。いつもお声掛け頂きありがとうございます。



仕事をしていると毎日が「あっという間に過ぎます。
これからも丁寧に仕事をして皆様のお役に立てるよう頑張ります。
どうぞよろしくお願いいたします。



防災 コーナー

こころのケアが大切



被災後は、地震の被害、避難所生活、余震など誰もが深刻な心のダメージを受け、多大なストレスが蓄積されるので、心のケアが大切になります。

○基本的な心構えと対処法

まず、**睡眠・食事・排泄**などの面で**身体のリズムを大切に**し、普段の家庭生活を1日でも早く取り戻すことが、心の傷を和らげます。また、地域ぐるみで助け合い、孤立しないことが大切です。

○「エコミ-クラス症候群」に気をつけて!

狭い空間で同じ姿勢のまま過酷していると、血液の循環が悪くなり、足などにできた血栓が肺や脳、心臓などの細かい血管を詰まらせることで起きる症状で、最悪の場合には、死に至ることもあります。
<予防法> 水分を十分にとる、適度に体を動かす、ゆつりと履いた衣服で寝る。

○手口はさまざま!
悪質犯罪に気をつけて!

ボランティアを装った詐欺や生活必需品を高額で売るなどの悪徳商法に注意!

